

患者の安全に関するセミナー

日時：平成12年7月16日（日）午前10時～午後4時 場所：日本医師会館 大講堂

開会

星 北斗 日本医師会常任理事

おはようございます。担当常任理事の星でございます。時間になりましたので、ただいまから患者の安全に関するセミナーを始めさせていただきます。

まず初めに、日本医師会会長・坪井栄孝よりご挨拶を申し上げます。

会長挨拶

坪井栄孝 日本医師会長

「患者の安全に関するセミナー」のご案内を申し上げたところ、多くの方々にご参加いただきまして、まことにありがとうございます。

さて最近、非常に多くの医療事故が毎日のように新聞で報道されておりまして、私はもちろん、皆様もさぞかし胸を痛めておられることとっております。医療事故はどこか1つの部分の問題で起きるというのではなく、医療全体のシステムのなかにわれわれが考えなければいけない問題が山積しており、そのなかで、たまたまその現場で起きた現象であろうと思いません。

たとえば、看護の場で医療事故が起きれば、どうしても最初に看護婦さんのことが新聞に出てしまいます。あるいは手術の場で起きれば外科医のことが前面に出てしまう。それはやむをえないことかもしれませんが、しかしそこから出発して、日本の国民を中心とした患者の安全ということをもっと深く考えていく必要があると、かねがね思っていたわけでございます。

今年の5月に、フランスのディボンヌで世界医師会の中間理事会がありました折に、私どもとアメリカ医師会とで定期協議を行いました。その協議は、本日お見えになっているナンシー・ディッキー先生の司会で行われたわけです。

協議の項目はあらかじめ打ち合わせがあるのが当然ですが、お互いに大変気心が知れていますので、その場で決められることもあります。今回は、私は患者の安全に関してお話し合いをしたいなと思っておりました。

ところが、協議が始まってすぐにディッキー先生から出されたカードは、患者の安全についてでした。私が持っていったカードも患者の安全のことです。たまたま非常に大きな課題を2人とも抱えて協議の場に臨んでいたわけですから、その場で、患者の安全に関するセミナーを開催したいこと、ぜひディッキー先生にお願いしたいというお話をしました。

私はまた、東海大学の黒川先生とお付き合いさせていただいておりまして、この話をいたし

ましたところ、アメリカで出版されているペー
シエントセーフティーに関する著書をいただき
ました！ぜひやりましょう」ということで、本
日のセミナーが開かれたわけでございます。

そのほか、講師として、三宅先生、児玉先生、
嶋森先生をお呼びしております。ぜひ皆様方も
患者の安全について真剣にご討議いただき、実
りある会にさせていただきたいと思っております。

先ほどもちょっと申し上げましたが、各パー
トに欠陥があることは確かですから、それを完
全に直していくことも、努力目標としては必要
なことだと思っております。しかし私は、いわ
ゆるヒューマンファクターというものについ
て、もっと突っ込んで考えていかなければなら
ないところがあると思っております。

本日のセミナーの成果を元に、今後は、われ
われ自身がどう考えるべきか、どう対応して、
患者の安全を確保するかということを継続的に
考えていく足掛かりにしたいと思っております。

まだ不確定ですが、次の機会には、アメリカ
にある患者安全基金の方においでいただいて、
具体的なお話を聞く会をもちたいと思ってお
りますので、その節はまたよろしく願います。

座長挨拶

小泉 明 日本医師会副会長

本日のセミナーで座長を務めさせていただ
くのはまことに光栄でございます。

初めに、このセミナーの主題である「患者の
安全」に対して、日本医師会がどのように取り
組んでいるのか、その概況を述べさせていただきます。

患者の安全確保が医療の実践に当たって最も
重要な事項であることは、改めて申し上げるま
でもありません。

日本医師会では、医療安全対策委員会が、平
成9年7月、坪井栄孝会長より「医療における
安全意識の確立と向上を図るためにリスク・マ
ネジメントはいかにあるべきか その対応策に
ついて」の諮問を受け、平成10年3月に答申
「医療におけるリスク・マネジメントについて」
をまとめ、平成12年3月には緊急提言として
「医療安全に関する研究と人材育成の必要性」を
強調しました。

本年3月14日、日本医師会を含む医療関係6
団体の代表者による「医療事故防止緊急合同会
議」を開催しました。各団体それぞれの組織に
おける医療事故対策の現状と今後の見通しを述
べ、協議のうえで各団体代表者の連名による共
同声明を公表いたしました。

さらに、日本医師会は「患者の安全確保対策
室」を設置いたしました。その業務は、患者の
安全に関する内外の情報収集と提供、地域の医
師会や医療機関の相談に応じること、患者の安
全に関する国民からの意見聴取、調査研究の推
進などです。医療安全対策を医療事故を防ぐ
方向で前向きに取り組んでいく、という方針
に立っております。

本日のセミナーが患者の安全確保に関する日
本医師会の諸事業展開の大きな弾みになるこ
とを強く期待するものでございます。